

## 結露防止シート(G-プレス)取扱説明書

### 1. はじめに

- ・ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みのうえ正しくご使用下さい。
- ・本取扱説明書に記載されている内容を守らないことによって生じた損害等につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- ・本書の内容は改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。

### 2. 結露防止シート(G-プレス)について

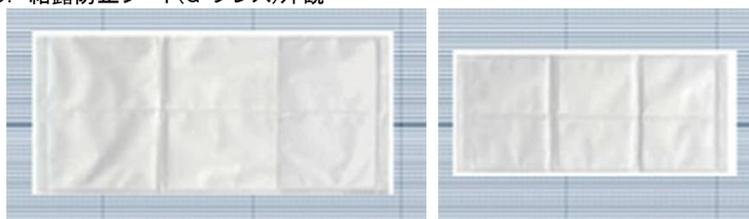
結露防止シート(G-プレス)は、調湿特性の優れた特殊な材料によって設備機器の結露を防ぎ、トラブルを未然に防止する高性能な設備保全アイテムです。

従来の防湿剤が一定量の水分を吸収すると性能が急激に低下してしまうのに対し結露防止シート(G-プレス)は湿度が高いときは吸湿し、逆に湿度が低いときは放湿することで適正湿度を保つため、長期にわたって性能を維持します。

結露防止シート(G-プレス)は電力不要で、薄く軽いシート状のため、わずかなスペースや曲面などにも簡単に取り付けすることができます。

アウトガスの発生が無く、機器内部への取り付けが可能です。

### 3. 結露防止シート(G-プレス)外観



G-プレス L AG-01

G-プレス M AG-02



G-プレス はがき AG-03



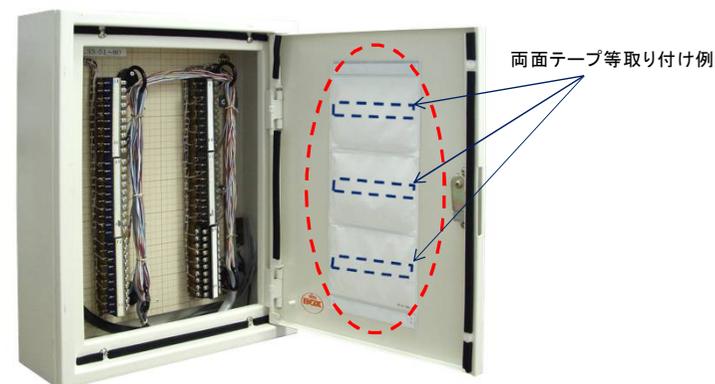
G-プレス 名刺 AG-04

製品名	製品寸法 (mm)	製品重量 (g)	適用容積※ (目安)
G-プレス L AG-01	530 × 230 × 3	130	400L/枚
G-プレス M AG-02	370 × 150 × 3	50	150L/枚
G-プレス はがき AG-03	100 × 148 × 1	10	25L/枚
G-プレス 名刺 AG-04	55 × 91 × 1	3	7L/枚

※適用容積(目安)は気温30℃時の飽和水蒸気量から算出。  
該当機器の構造、使用環境等により空気中の飽和水蒸気量は異なりますので、G-プレスのサイズ・枚数目安も異なります。

### 4. 結露防止シート(G-プレス)取付方法

- ①両面テープやマグネットテープ等を用いて取り付けて下さい。  
取り付け方法が不十分な場合、G-プレスが落下する恐れがありますのでご注意ください。



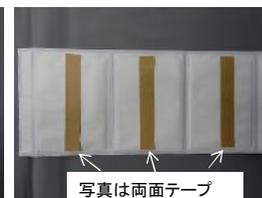
#### ②両面テープ等の取付例

・G-プレスL、Mなど製品にマチがある場合

例：製品両端のマチ部分に取り付け      例：製品の中央部に取り付け



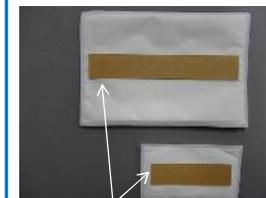
写真はマグネットテープ



写真は両面テープ

・G-プレスはがき、名刺など製品にマチがない場合

例：製品の中央部に取り付け

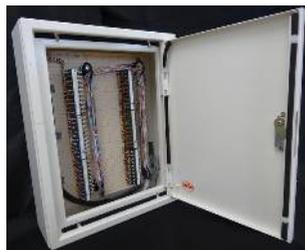


写真は両面テープ

### 5. 使用上の注意点

- ・G-プレスに直接水がかかる環境では使用しないで下さい。
- ・G-プレスを設置する際に設置環境が水で濡れている場合は、必ず設置環境を乾燥してから設置して下さい。
- ・G-プレスは単独で発火するものではありませんが、炎や火気の近くでは使用しないで下さい。
- ・G-プレスが、直接日光が当たるところには設置しないこと。
- ・G-プレスは使用する直前まで、梱包状態(チャック付ビニール袋)から取り出さないで下さい。
- ・G-プレスを保管する際は、直射日光の当たらない屋内にてチャック付ビニール袋のまま保管して下さい。
- ・G-プレスは機器の故障防止を保証するものではありません。
- ・外装から取り出しての使用、及び切り取っての使用はしないで下さい。
- ・万が一、材料が目や口に入った場合は、直ちに医師の診療を受けて下さい。

## 結露防止シート(G-プレス)の効果を出すための事前準備



### G-プレスの適用枚数の試算

#### ①容積の確認

配電盤内の幅、高さ、奥行きを調査する。

容積 = 幅 × 高さ × 奥行き (m) × 1000

例

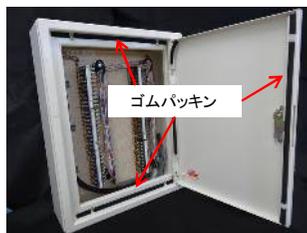
容積 = 0.5 × 0.9 × 0.3 × 1000 = 135L

G-プレスの適用容積はサイズごとに異なりますが、Mサイズであれば1枚当たり150Lなので適用枚数は1枚となります。  
※該当機器の構造、使用環境等によりG-プレスのサイズ・枚数は異なります。例えば、1日の温度差がある環境。湿度変動はあるものの湿度が高い環境下では、適用枚数以上にG-プレス増やして効果を確認願います。



### 配電盤内の清掃

特に両面テープを接着する部分にゴミ、埃が無い様に乾布でふき取り清掃して下さい。



### 配電盤の隙間確認

配電盤内へ外気、水滴の侵入が有ると十分な調湿効果が得られない可能性があります。

**必ず、機器の故障に影響する水や多湿な空気が隙間から侵入し無いようにして下さい。**

#### ①開閉扉の隙間の有無を調査確認する。

隙間があれば、ゴムパッキン等の弾力材で隙間が無い様にして下さい。

もし、ゴムパッキンが劣化している場合、適宜交換するなどの対策を実施して下さい。

### 注記

- ・G-プレスの中身がベージュ色に変色していても性能上問題はありません。
- ・G-プレスは吸湿・放湿を繰り返す過程で外装布のみが空気膨らむことがありますが、性能に影響はありません。
- ・G-プレスの外装が破れていたら交換して下さい。
- ・G-プレスの外装に汚れや、異物が付着している場合は交換してください。
- ・G-プレスの中身が下部に寄っていて、ゲル状になっている場合は交換してください。

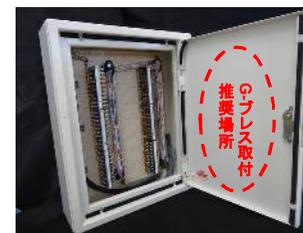
#### ②空気口がないか確認する。

#### ③ダクト・ケーブル通し部分の隙間を確認する。

ダクト、ケーブル通し部分の隙間は外気が侵入し効果が低減するので**コーキング材**や**発泡ウレタン**等で閉塞して下さい。閉空間でない場合G-プレスの効果を発揮できない場合もあります。



ケーブル自体もコーキング材や発泡ウレタン等で包み込み、隙間をなくして下さい



### G-プレス 推奨取り付け位置

・電気部品、接続端子、配線に接触しない箇所。

G-プレス取り付け場所のホコリ、汚れ等を乾布で拭いて下さい。

ホコリ、汚れ等が残っていると、G-プレス取り付け後、製品が落下する恐れがあります。